

第 86 回日本泌尿器科学会東部総会

JUA ダイバーシティ推進委員会企画プログラム

大会長：旭川医科大学腎泌尿器外科 柿崎秀宏教授

日時：9 月 4 日 最終プログラム 15：50～16：50

会場： WEB 開催

テーマ 「アンコンシャス・バイアスを考える」

座長：旭川医科大学 柿崎秀宏

東京大学医科学研究所附属病院 高橋さゆり

提言「今からでも間に合う、「アンコンシャス・バイアス」のマネジメント 」

昭和大学 前田佳子

基調講演 「 ライフイベントに備えた、基礎研究従事者のススメ 」

帝京大学生化学講座 安達三美

一般講演

「 三人の未就学児を抱えた医師夫婦の家事・育児と働き方、そこに潜むアンコンシャスバイアス ～家長制度では振るわなかった俺が、気付いたら育児無双していた話～ 」

新東京病院 金谷淳志

「 アンケート結果から見てきた北部九州地区の病院・大学におけるアンコンシャスバイアスに対する認識度 」

高山病院 川崎麻己

「 バイアスなき将来を考える若手泌尿器科医 」

旭川医科大学 宮内琴菜

座長の言葉 旭川医科大学 柿崎秀宏

開会にあたってダイバーシティ委員である前田佳子先生からアンコンシャス・バイアスの定義やそのマネジメントについて解説頂いた。

基調講演では帝京大学生化学講座の主任教授である安達三美先生よりご自分の体験を踏まえライフイベントを乗り越える術として基礎研究の魅力について講演頂いた。またキャリアを継続する重要性と若手医師への力強い応援メッセージを頂いた。

一般講演には 3 名の先生に登壇頂いた。医師夫婦で 3 児の父親である金谷淳志先生はイクメン代表として仕事と円満な家族を両立している状況を統計学的に解析された。ダイバーシティである川崎麻己先生からはアンケート結果からアンコンシャス・バイアスについて講演頂いた。最後に主催大学の宮内琴菜先生から若手女性医師代表として意見を述べて頂いた。

大会長で座長を務めていただいた柿崎秀宏先生の座長の言葉で締めくくったが、柿崎教授の医局員のために朝コーヒーを淹れる写真が印象的であった。